

H-II Aロケット21号機による  
水循環変動観測衛星「しずく」等の打上げについて  
(宇宙開発担当大臣談話)

本日、H-II A ロケット21号機による水循環変動観測衛星「しずく」(GCOM-W)等の打上げが成功いたしました。

「しずく」は、高性能マイクロ波を測定するセンサーを搭載し、降水量、水蒸気量、海洋上の風速や水温、陸域の水分量、積雪深度等を観測するものであり、日本の高い技術力に対して大きな期待が寄せられています。また、「しずく」は、米国等の衛星と協力して地球を観測する衛星群の一翼を担うものであり、国際協力を通じて、地球規模での気候変動、水循環メカニズムの解明や水資源管理等に貢献することを期待しています。

H-II Aロケットの打上げは、今回で15回連続の成功となり、打上げ成功率も95.2%となりました。改めて、我が国のロケット技術の信頼性の高さを確認することができました。

また、今回は、「しずく」とともに、韓国の衛星の打上げも実施いたしました。我が国初の商業打上げとして韓国の衛星を打ち上げることができたことは、大変喜ばしいことでもあります。今後も、政府として、衛星打上げサービスの機会確保について支援してまいります。

引き続き、宇宙開発担当大臣として、宇宙開発利用に関する取組を積極的に推進してまいります。

平成24年5月18日  
宇宙開発担当大臣  
古川 元久